

第18回懇話会における委員からの意見交換提案事項

[1] 奈良県における放射性物質検査について

- 県内に流通する食品についての放射性物質に関する収去検査の実施強化
— 森委員

[2] 食品に関する相談・指導等の事項

- 今年7月1日から生レバーの提供が禁止になったが、奈良県内ではその後違反は無いのか、聞き取り調査等が必要ではないでしょうか。
また、生レバーの安全な消毒方法について、県でも考えてはどうでしょうか。ちなみに、大阪府大の山崎教授は次亜塩素酸Naの注入で大丈夫としています。また、今年7月28日付けの新聞報道で、厚生労働省が生レバーの殺菌に放射線を導入する検討を決定しています。
— 坂上委員
- 食の相談はどこでされていますか。保健所でしょうか、消費生活センターでしょうか。それらの集計はまとまっているのでしょうか。
— 寺田委員
- 今年の夏もまた長く暑い日が続きます。湿度も高く、細菌もすごいでしょ。生ものは恐いですから、各食品売場に人目に付くようビラなど貼って、食中毒を避けたいと思います。「生ものは防腐剤がかかっていないので、今日中に食べて下さい。明日以後食されたものには責任を負いかねます。」というのはいかがでしょうか。(買った人の自己責任の通知)
— 山岡委員

[3] 食品の表示に関する事項

- 「健康食品」のCMが気になっています。
「健康食品」のCMや雑誌などでは、「1週間で〇〇kg痩せた」「天然成分だから安心」「植物性だから安心」と表現がされていたり、「効果には個人差があります。」と小さく表記されているものの有名タレントなどが「私も・・・できました。」など効果が疑わしいものが多数見られます。
私自身も、具体的な実態等よく分かっているわけではありませんが、公開講座などでは、健康食品を過信してはいけないこと、「天然」や「植物性」にも抽出・濃縮すれば危険があること、薬と食品の違いなど、注意を呼びかけています。
— 矢和多委員
- 昨年の秋頃から検討されている「食品衛生法」「JAS法」「健康増進法」の3つの法律でそれぞれ定められ、分散している食品表示のルール一元化「食品表示一元化検討会」の進捗状況について
— 中山委員

[4] その他

- リスクコミュニケーションとして、今後はどのような取組みを予定されていますか。
— 寺田委員
- 奈良県版HACCPの作成の準備を始めることが必要と思われる。近畿2府4県では、奈良県のみが県独自のHACCPを作成していない。
— 坂上委員
HACCP概念を取り入れた自主管理体制の強化促進を図る研修会の継続開催
— 森委員